

2018年2月6日付

スポーツニッポン新聞社(スポニチ)に

本学の女子バスケットボール部が
取り上げられました！！

想いのすべてを、医療の力に。

森ノ宮医療大学

(9) 10版

スポーツニッポン

2018年(平成30年)2月6日(火曜日)

(第3種郵便物認可)

次回掲載は3月6日

スポニチキャンパス

初の2部昇格挑む

森ノ宮医療大学女子バスケットボール部

初の2部昇格へ「一本」の挑戦だ。森ノ宮医療大学女子バスケットボール部は、医療系の大学では数少ない学連に登録しているチームで、関西学生女子リーグを戦っている。現在は3部ながら、学業と両立し、主将の手島瑞季(2年)を中心に練習を続ける日々。最大の持ち味であるチームワークを武器に、新たなステージを目指す。

限られた時間で集中
5限目を終えた選手たちが体育館に集まって、トレーニングは午後6時開始。練習日は



今春卒業する村崎結マネジャー(4年)が支えられてきた。登録など数多い手続きを一手に引き受け、遠征費などを振り込む際には、大金を手懐け、バスケットに打ち込み、大学入学と同時に裏方としてチームを支えることを決意した。「支えるというか、わたし

理学療法学科が3年、鍼灸学科が4年で引退するため、同期のラストを2度も経験した。「引退試合は、試合をしている姿を見ていただけで泣けてきました。一方で2部昇格を目指す後輩たちにも熱いメッセージを向け「選手」の能力は高いと思います。もっと、お互いを高め合おう感じになってほしいです」とエールを送った。



吉川安紀

日替わりの健康ランチ
塩分&カロリー控えめ
Medi CAFE
学校関係者だけでなく一般利用も多い「Medi CAFE(メディカフェ)」。ここでの人気メニューは日替わりで提供する「健康ランチ」(350円、一般は600円)。「メインプレート」と五穀米などの「健康米」がセット(スープは別料金)で、より健康への意識が高い医療系の学生へ向けて1カ月平均で670kcal以下、塩分3



岡田侑利

32才未満になるようにヘルシーな献立を組んでおり好評だ。医師の教員と一緒にレシピを考案したカレー(280円、一般は450円)も人気。営業は平日午前11時～午後2時45分で大学の授業等に合わせて週末もオープン。

2部に昇格するためには3部で2位以内に入り、かつ入れ替え戦に勝たなければならない。道のりは険しくても、松本実姫(2年)は「技術的に劣っていないし、普通にやったら勝てると思う」と自信を示す。昨季9位に終わった反省材料を「試合によって波があったこと」と主将の手島。課題を克服するため、新チームになってから普段の練習から緊張感を高めてトレーニングを重ねてきた。

新たなステージへと踏み出すために。学業との両立に追われながらも、コートは活気に満ちている。

チームワーク負けない
現在の部員は3年生1人、2年生4人、1年生7人の計12人。最大の強みを「チームワーク」と誰もが口をそろえる。「上下関係もない。みんな仲が良い」と話すのは、資格取得とバスケットを続けるために入学してきた副主将の吉川安紀(2年)。フォワードの岡田侑利(2年)もお昼も集まって食ったり。お互いのことを分かっています」と語る。1年のセンター・田中亜季を攻撃の中心としながら、相手を見てコート内で攻めろを探るなど自主性も持ち味だ。

普段から緊張感持って
2部に昇格するためには3部で2位以内に入り、かつ入れ替え戦に勝たなければならない。道のりは険しくても、松本実姫(2年)は「技術的に劣っていないし、普通にやったら勝てると思う」と自信を示す。昨季9位に終わった反省材料を「試合によって波があったこと」と主将の手島。課題を克服するため、新チームになってから普段の練習から緊張感を高めてトレーニングを重ねてきた。

基本は月水金の週3日と決まっている。授業数が多い上に、実習や夏休みの集中講義もあるのが医療系の大学。活動が制約される中、学連に登録して戦っているのが森ノ宮医療大学の女子バスケット部だ。理学療法士を目指す手島は、昨年10月から主将を務め「課題と多くて勉強も大変ですけど、全員が明るくて、楽しみながらやっていきます」と笑顔を見せた。